

# Watching

## 身体障害者体育大会

### 障害を越えてスポーツ交流

5月10日、久留米総合スポーツセンター陸上競技場で、第47回福岡県身体障害者体育大会が開催されました。

当日は晴れわたる青空のもと、田川市からは13人が参加し、陸上競技、フライングディスク競技などで、金メダル4個、銀メダル4個、銅メダル2個と健闘しました。

フライングディスク競技に参加した中原義昭さん（鉄砲町在住、78歳）は10回目の参加にして、初めて金メダルを獲得し、「いつも以上に気合を入れて競技に臨みました。他の参加者やスタッフから祝福の言葉をかけられて嬉しかった。このメダルを大切にします」と満面の笑みを浮かべていました。



▲健闘した田川市選手団のみなさん



▲一生懸命空き缶を切る親子

## 美術館で水カンリンバ作り

### 癒しの音を奏でる

5月17日、美術館で民族楽器奏者丸山祐一郎さんを講師に、小学生と保護者など18人が、空き缶と水を使った「水カンリンバ」という楽器作りに挑戦しました。

これは丸山さんが考案したもので、コーヒー飲料の空き缶を4個つなげ、中の2個の缶の間を水が行ったり来たりして水が流れる音を楽しむ楽器です。参加者は金バサミで空き缶を切り、水を入れて接着剤でつなぎ、最後に和紙や色紙を貼って仕上げました。

参加した梶原一真君（後藤寺小4年）は、「空き缶を切るのが難しかった。心地よい音がします」と得意そうに話していました。

## 暴力団追放！地域決起会議

### 一致団結して暴力追放

5月26日、青少年文化ホールで筑豊地区の暴追・防犯リーダー、警察関係者、自治体関係者など約400人が参加して、「暴力団追放！地域決起会議」が開かれました。

冒頭、県組織犯罪対策局の瀧上昌敏局長より、県内の指定暴力団の動向や、新たな暴力団排除の条例制定を模索中であるとの講演がありました。その後、田川市安全・安心まちづくり相談センターの武井光明相談員から、元組員による田川市に対する不当要求についての報告があり、官民の連携と不当要求を防ぐため予兆への対応の重要性を強調しました。

最後に参加者全員で「安全で安心して暮らせる福岡県の実現に向けて邁進する」との共同アピールを採択しました。



▲「共同アピール」を読み上げる参加者

# わが街



▲宣誓を行なう新生代表の櫻木りえさん

## 糖尿病看護認定看護師教育課程 入学式

### 糖尿病治療の中核へ

6月5日、福岡県立大学で16人の看護師や保健師が糖尿病看護認定看護師教育課程に入学しました。

この教育課程は、糖尿病看護において熟練した技術と知識を用いて水準の高い看護実践ができ、看護専門職の質の向上に資することを目的に設置されました。

安酸史子看護実践教育センター長は、「患者さんと治療同盟を結び、一緒に困難事を解決していくことのできる専門家になって欲しい」と式辞。

新入生代表の櫻木りえさんは「糖尿病看護分野に貢献できる、より高度な専門職業人となることに努めます」と宣誓しました。

## 泥んこドッジボール

### 梅雨を吹き飛ばせ！

6月6日、福岡県立大学不登校・ひきこもりサポートセンターが、鎮西小学校の児童を招いて、田植え前の田んぼで泥んこドッジボール大会を開催しました。

この日参加したのは、鎮西小学校と近隣の小学生を合わせて15人。

この大会は、自然体験を通して子どもの健全育成を図るとともに、児童と大学生との交流をきっかけに地域における大学の存在を知って欲しいと企画。

鎮西小5年の濱崎優雅君は、「田んぼはドロドロしていて動きにくかった。初めての体験だったが、機会があれば是非また参加したい」と話していました。



▲子どもたちの元気な声が響きわたりました



▲楽しそうにショウブを眺める参加者

## 成道寺公園でショウブ鑑賞会

### 公園をまちの名所に

6月9日、成道寺公園で田川商工会議所の会員やボランティア団体など約100人が清掃活動をし、その後ちょうど見ごろを迎えたショウブの鑑賞会を行いました。

ショウブは、平成17年に400株、昨年1,200株植えたもので、今年は600株に花が咲きました。参加者は、きれいになった公園で、花を眺めながら一服。「自分たちが植えた花はひとときわきれい」とうっとり。

商工会議所職員の中村成也さんは、「来年は、昨年植えた株も花が咲きそろうので楽しみです。年々ボランティアで関わってくれる人も増え、成道寺公園を地元の名所にしたい」と目を輝かせていました。